

平成28年度
エコオフィス実行計画実績結果

平成29年9月

観 音 寺 市

■ 本報告書の位置づけ

この「エコオフィス実行計画実績結果」は、地球温暖化対策の推進に関する法律第二十条の三第10項に基づき、第2次観音寺市エコオフィス実行計画に基づく措置及び施策の実施の状況を明らかにするために毎年度作成し、公表しているものです。

本書では、平成28年度の実施状況について報告します。

■ 温室効果ガス総排出量の実績について

平成28年度における第2次観音寺市エコオフィス実行計画で対象とした施設から排出される温室効果ガス総排出量の削減実績は以下のとおりです。

表 温室効果ガス総排出量の実績

排出源	平成25年度 (基準年)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	基準年対比
	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	%
ガソリン	174,401	162,735	141,599	131,645	-24.5
灯油	73,898	68,757	32,861	40,260	-45.5
軽油	242,070	214,302	212,169	205,261	-15.2
A重油	237,160	200,309	205,593	204,496	-13.8
LPG	4,750	2,735	29,859	25,093	428.3
電気	2,231,540	2,257,774	2,267,791	2,141,296	-4.0
その他の CO ₂	4,312	5,121	2,468	1,851	-57.1
CO ₂ 以外 (※1)	239,715	233,389	257,484	230,394	-3.9
温室効果ガス 総排出量	3,207,846	3,145,122	3,149,824	2,980,296	-7.1

※1：「CO₂以外」とは、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンを含みます。

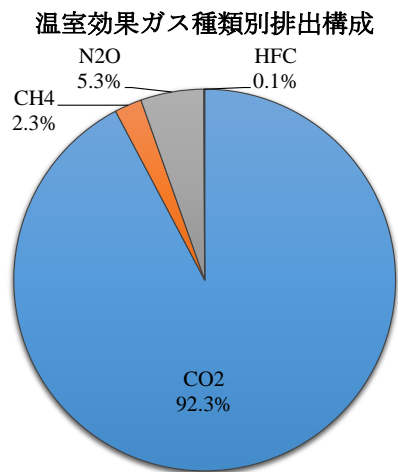
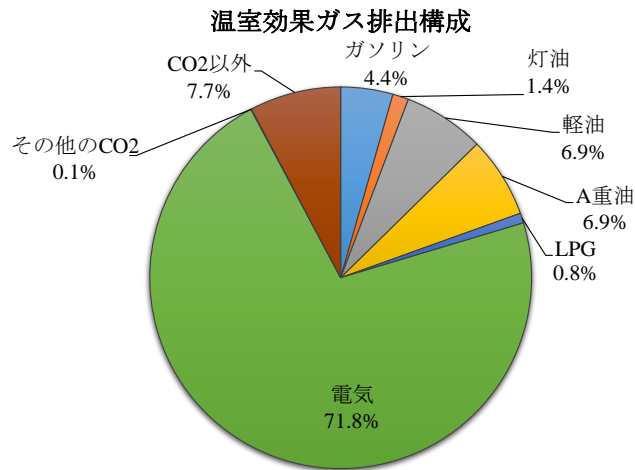
※集計は端数処理の関係で一致しないことがあります。

※平成25年度分には、市民会館解体によりホール部分の実績は含まれていません。

表 温室効果ガスの種類別排出量

温室効果ガスの種類	平成25年度 (基準年)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	基準年対比
	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	%
CO ₂	2,968,131	2,911,733	2,892,341	2,749,902	-7.4
CH ₄	67,330	65,889	77,618	68,935	2.4
N ₂ O	166,555	161,514	175,542	159,366	-4.3
HFC	5,831	5,987	4,323	2,093	-64.1
温室効果ガス総排出量	3,207,846	3,145,122	3,149,824	2,980,296	-7.1

※集計は端数処理の関係で一致しないことがあります。



平成28年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度である平成25年度に比較して約7.1%（約228トン）削減し、第2次観音寺市エコオフィス実行計画の削減目標を達成しました。

主な減少要因は、下記のとおり燃料使用量の削減によるものと考えられます。

- ガソリン
 - 職員への啓発による公用車利用の減少及びエコドライブの浸透
 - 公用車数の適正化及び低燃費車・低公害車の導入
- 灯油
 - 本庁舎への職員の集約化による暖房施設における燃料使用量の低減
- 軽油
 - 職員への啓発による公用車利用の減少及びエコドライブの浸透
 - 公用車数の適正化及び低燃費車・低公害車の導入
- A重油
 - 発熱量当たりでCO₂排出量の少ないLPGへの燃料転換による燃料使用量の低減
- 電気
 - 本庁舎への職員の集約化による電気使用量の低減
 - LED照明など省電力機器の導入
 - 職員への啓発による電気使用の適正化

本計画の最終年度である平成29年度は、温室効果ガスの削減のための取組みを継続して行い、本計画の削減目標を確実に達成します。また、次計画である「第3次観音寺市エコオフィス実行計画」の策定に向けて、新たな取組みを導入してさらなる温室効果ガスの削減を推進します。